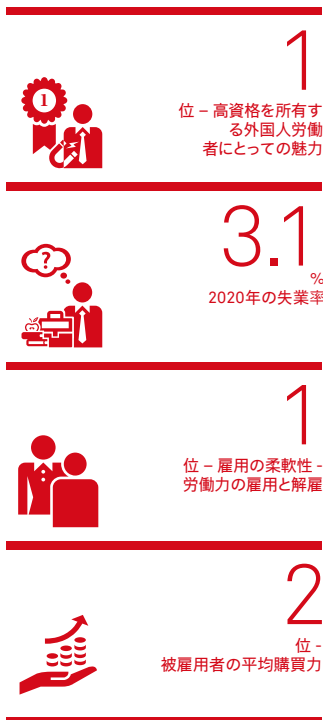




統計



出典：BFS/WEF/GfK Kaufkraft Europa, 2021

スイスの労働市場

概要

スイスは、雇用主にとって魅力的な国であると同時に、世界で最もリベラルな労働法を有する国として、高く評価されています。企業は、経済的ニーズに合わせて、フレキシブルに、人材の雇用、解雇を行うことができます。さらに、諸外国に比べ、賃金付随コストが低く、そのうえ、過去10年間におけるストライキの数が、欧州で最も少ないことも、雇用主にとって魅力的な点です。スイスの生活水準はとて高く、賃金も適切であるため、高い技術、資格を有する優秀な人材にとっても、とても魅力的な市場です。

ストライキ日数

欧州内比較(労働者1,000人および1年あたり、2010年 - 2019年)

国名	日数	国名	日数
スイス	1	デンマーク	45
アイルランド	16	スペイン	49
ドイツ	17	ノルウェー	55
英国	18	フィンランド	59
オランダ	19	フランス	121

出典：欧州労働組合研究所、2021年

有能な労働者にとっての魅力

海外の有能な労働者を自国に惹き付ける魅力ランキング、2021年

国名	順位	国名	順位
スイス	1	オランダ	6
シンガポール	2	フィンランド	7
米国	3	ルクセンブルク	8
デンマーク	4	ノルウェー	9
スウェーデン	5	アイスランド	10

出典：人財競争力調査レポート、2021年

雇用主の利点

- 高い生活水準と素晴らしい労働環境を有するスイスは、高い資格、技術を有する海外の優秀な人材が、注目している市場です。様々な調査によると、スイスは、専門職に携わる、才能豊かな外国人労働者にとって最も魅力的な国である、ということが分かりました。
- スイスの労働市場は、高い労働生産性を特徴としています。医薬品、保険業、金融業のみならず、機械産業、電子機器産業、金属産業においても、諸外国に比べ、高い労働生産性を有すると、評価されています。
- スイスの労働市場は、大変進歩的な法制度により、高い柔軟性を保持することができています。経済的なニーズに合わせて、人材を、フレキシブルに雇用、および解雇することが可能です。
- 就労についてリベラルな考え方をすることが、スイスの文化のなかに強く根付いています。このことは、国民によって繰り返し確認されてきました。過去10年を遡ってみても、労働市場に対して強く介入する政府を要望する運動や国民投票の多くは、失敗に終わっています。例えば、2012年に行われた、全国民が6週間の休暇を得られることを求める運動も受け入れられませんでした。

人材の雇用／解雇におけるフレキシビリティ

国際比較

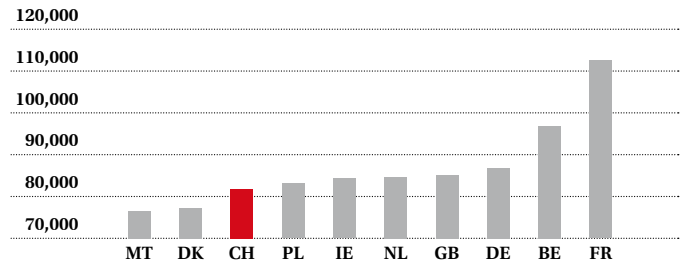
国名	順位
★ 香港	1
✚ スイス	2
🇸🇬 シンガポール	3
🇦🇿 アゼルバイジャン	4
🇺🇸 米国	5
🇩🇰 アイスランド	6
🇩🇪 デンマーク	7
🇰🇼 カタール	8
🇸🇦 アラブ首長国連邦	9
🇲🇾 マレーシア	10

出典：世界経済フォーラム(WEF)、2019年

- 雇用主は、従業員を雇用する際、給与の他に、社会保障費を負担するになります。スイスの労働者の社会保障費は、非常に低いことで知られています。給与の総支給額が同額の社員のために雇用主が負担する費用を比較した場合、スイスは欧州内で3番目の低さです。

雇用主の実質コスト欧州比較

給与総支給額7万5千ユーロの従業員一人あたり









出典：Deloitte、2019年

- スイスの教育の特徴は、専門大学およびデュアル教育システムにより保証されている実践に基づいた教育システムです(ファクトシート「スイスの職業教育」参照 www.s-ge.com/education)。世界経済フォーラム(WEF)は、国際比較を通じて、スイスが就労者の継続教育や再教育の分野で最高の評価を受けていることを示しています。同様に、大学卒業者の職業訓練度においても、最高の成績を収めています。

- ・ スイスは、雇用主と被雇用者間の衝突が少なく、ストライキがほとんどないため、労使双方の社会共同システムが、大変効果的に機能しています。雇用者と被雇用者の関係が、スイスほどポジティブに機能してる国は、他にありません。

雇用主および被雇用者の協力体制のクオリティ スイス 国際比較

国名	順位
 シンガポール	1
 スイス	2
 ノルウェー	3
 オランダ	4
 ノルウェー	8
 米国	21
 アイルランド	23
 ドイツ	30
 英国	33
 フランス	92

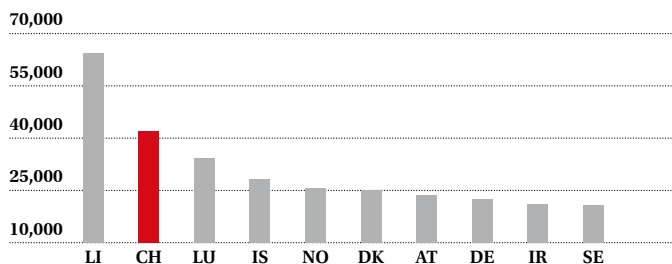
出典：世界経済フォーラム(WEF)2019年

労働者の利点

- ・ スイスは、アイスランドに次いで、就業率が最も高い国です。2020年末の時点で、就労可能な国民の79.9%が職に就き、給与を得ています。この数値は、OECD平均の66.1%を大きく上回るものです。また、スイスの失業率は、3.1% (2020年) と、非常に低く抑えられています。
- ・ さらに、スイスの労働者は、高い購買力を有しています。2020年のスイスの実質可処分所得は、41,998ユーロでした。これは、アイスランドおよびルクセンブルクを上回る数字です。

欧州内の購買力トップ10

会社員の平均購買力(単位：ユーロ)、2020年



出典：GfK Purchasing Power(GfK パーチャイニングパワー)、2020年

- ・ 諸外国に比べ、給与が高いスイスは、中間管理職にとって魅力的な市場です。年間の平均年収は、税金、社会保障費、家賃、光熱費等を差し引いても、10万ユーロ以上に達します。
- ・ OECDの「より良い暮らし指標 (Better Life Index)」内の生活の質に関する指標のなかで、スイスはとても高く評価されています。個人的な幸福度、仕事、収入と財産、健康、社会的つながり、環境、教育、ワークライフバランス、居住や安全性といったテーマの統計では、平均以上の数値が示されています。

税制

源泉税

永住許可証 (C許可証) を所有していない外国人労働者には、スイスの源泉徴収制度が適用されます。つまり、雇用主が税金を直接給与から差し引き、税務署に支払っています。源泉徴収義務のある年間所得が12万スイスフラン以上になる場合、スイスを納税地とする外国人労働者は、所得税および資産税の申告が必要になります。

スイスを納税居住地としていない場合 (外国人およびスイス人) でも、スイス国内で発生した所得は、源泉徴収の対象となります (国境を越えて通勤する者、短期滞在者、講師、スポーツ選手、芸術家等)。しかしながら、このような所得の場合、所得額によっては、所得税および資産税の申告を行う必要がない場合もあります。

最新の動向

- 連邦政府はスイスのデュアル教育の利点がより良く理解されるよう国際レベルで働きかけています。職業訓練課程卒業と各分野の専門家の高い(国際的な)モビリティを理解してもらうことが目的です。スイスはEUのコペンハーゲンプロセスをサポートし、職業教育の効率、質、魅力をさらに強化していきます。

連絡先、追加情報

官公庁

連邦教育研究イノベーション庁省
sbfi.admin.ch

連邦経済事務局

seco.admin.ch

配置-スイスにおける労働と所得条件をテーマにしたプラットフォーム
entsendung.admin.ch

出版物、ツール

より良い暮らし指標OECD
oecdbetterlifeindex.org

Deloitte 欧州の給与調査2018年
www2.deloitte.com

世界競争力レポートWEF
weforum.org

National wage calculator
entsendung.admin.ch

KPMG Tax Rates Online
kpmg.com

Living and working in Switzerland - a guide for foreign nationals relocating to Switzerland
www2.deloitte.com

協会、ネットワーク

雇用者協会
arbeitsgeber.ch

S-GE資料

事業展開ハンドブック

s-ge.com/handbookforinvestors

経済活動拠点としてのスイスに関する
その他分野のファクトシート

s-ge.com/factsheets

無料で相談にお応えします

欧州への事業拡大を計画しており、欧州本部の拠点をスイスに設置する可能性もお考えですか? スイス・グローバル・エンタープライズ(S-GE)では、無料でお客様の相談に対応し、スイスへ進出するプロセスをサポートいたします。S-GEは、お客様を適切な州の経済促進局に直接おつなぎします。これにより、余計な事務手続きを省きながら、現地の税務や不動産などの専門家とのネットワークを確保できるようになります。

こちらまで、ご連絡ください: s-ge.com/invest